

浅野内匠頭 (峰 章山)

播州赤穂名藩主 浅野長矩内匠頭

元禄大事生城内 桜花如雪乘風流

短歌 風さそふ花よりもなほ我はまた

春の名残を如何にとやせむ

播州赤穂名藩の主

語釈 ※播州赤穂、兵庫県赤穂市にある。※名藩江戶時代、

將軍から石高一万石以上の土地を宛行われた大名の支配領域。

※浅野長矩内匠頭、播磨赤穂藩の第三代藩主。官位は従五位下

内匠頭。官名から浅野内匠頭と呼称されることが多い。

※元禄は日本の元号の一つ。貞享の後、宝永の前。一六八八

年から一七〇四年までの期間を指す。將軍は徳川綱吉。

※大事江戶城本丸廊下(通称松の廊下)で吉良上野介に對

しての刃傷のこと。※城内江戶城内。

元禄の大事城内に生じ

桜花雪の如く風に乘じて流る

通釈 播州赤穂名藩の藩主、浅野長矩内匠頭は元禄時代に於

いて松の廊下で吉良上野介に對しての刃傷を起こし、元禄十四

年春に切腹を命じられ、桜花雪の如く散っていった。